私は、彼らを満人と称して一括りにし、
一人ひとりの個人として認めることもなく、
何ひとつ声をかけたり交流することもなかった。

村尾孝『萱草の花野の果てに』より

立命館大学国際平和ミュージアム・満蒙開拓史研究会

私の満洲体験

—元東京農業大学満洲報国農場隊員・村尾孝さんに聞く—

12月2日（土）

13:30 ～ 15:30（開場 13:00）

立命館大学国際平和ミュージアム
アカデメイア立命 21　セミナー室 1

※予約なしでご参加いただけます

企画趣旨

満洲開拓団は 1932 年から開始された国策移民であり、これまでも多くの学術研究や体験者の証言が積み重ねられてきました。しかし、満洲開拓団の最末期の形態ともいえる、1942 年以降に開始された満洲報国農場の実態についてはごく僅かの体験記や研究がある程度で、一般的にはほとんど知られておりません。

そこで今回は、東京農業大学満洲報国農場隊員として 1945 年 4 月に満洲に渡った村尾孝さんをお招きし、体験を語って頂きます。なお、村尾さんは現在 95 歳で、当館のボランティアガイドを務められております。奮ってご参加下さい。

村尾孝さん（1929 年、京都市生まれ）

立命館第一中学校卒業後、1945 年 4 月より東京農業大学満洲報国農場隊員として満洲に渡る。引揚げ後は、農林省に勤務。現在は、立命館大学国際平和ミュージアムのボランティア・ガイドとして、来館者に満洲体験などを語り継いでいる。著書に『萱草の花野の果てに』（2012 年）など。

立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1　TEL 075-465-8151
Fax 075-465-7899 MAIL io1025-a@st.ritsumei.ac.jp（大月）